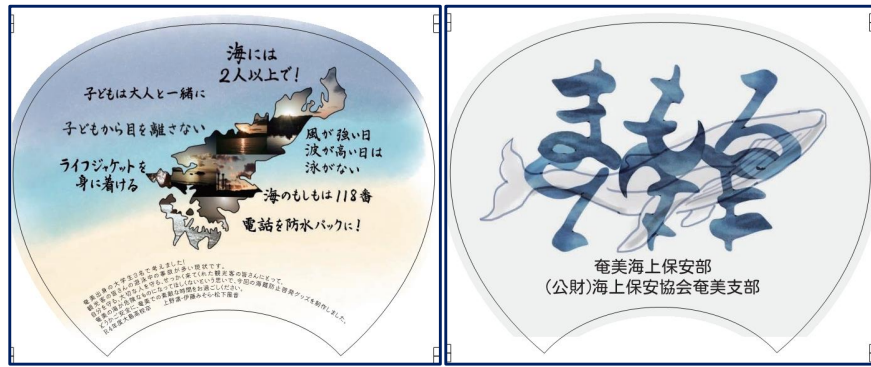




令和6年9月9日
奄美海上保安部



奄美大島出身大学生が海難防止啓発デザインを考案 ～ 奄美の海の安全を守りたい思いが形に ～



大学生デザインの海難防止啓発グッズ (左：ポスター 右上：クリアファイル 右下：うちわ)

昨年夏、奄美の海で続けて発生した観光客の遊泳中事故。それを受け、奄美海上保安部では観光客に特化した事故防止対策として、奄美群島内全ての空港に到着する航空機での機内アナウンスやレンタカー会社、宿泊事業者、自治体、警察、消防らと地域一体となった対策を積極的に進めているところです。

その活動を行う中、機内アナウンスの実現に向け調整していた航空会社職員から「大学進学で奄美を離れた大学生が奄美の海難状況を耳にし、観光客事故防止のために何か出来ないかと社に相談があったため、保安部を紹介した。」と話がありました。

早速、大学生の島への帰省に併せ保安部で面会、「自分と大事な人を海から守ってほしい、美しい奄美の海の安全が守られ続けてほしい。」との思いに感銘を受け、その思いを形にしようと『守』をテーマに海難防止啓発グッズのデザインを開始、来夏の事故防止に向け動き出すこととなりました。

聞けばその大学生、高校時代は書道部、デザインにも書で気持ちを込めたいと希望、現在同じく島を離れ進学している幼馴染の大学生2人にも声を掛け、大学生3人によるグッズのデザインを考案、令和6年夏、海上保安協会奄美支部の協力もありグッズが完成、大学生の思いがポスター、クリアファイル、うちわへと形を変え、多くの観光客の目に、手に届くこととなりました。

8月23日、大学生3人の奄美帰省に併せ、グッズ制作により奄美の海の安全に大きく寄与して頂いたことへ、奄美海上保安部長から感謝状を贈呈しました。



また、制作に協力頂いた海上保安協会奄美支部長でもある奄美市長へ、活躍等の報告を行うと共に、グッズを直接観光客に配りたいとの本人らの希望もあり、観光客が遊泳する海岸に赴き、保安部職員と一緒に啓発活動を実施しました。



制作したグッズデザインはメッセージ性が強く、マリンレジャー客の心に響くものであるうえ、この活動は地元新聞でも大きく取り上げられ、島民の海難防止思想の普及に繋がり、現在保安部が進めている「地域一体となった海難防止活動」の後押しにもなっています。

大学生の企画力、行動力を見習うと共に大学生の思いを胸に、奄美海上保安部は奄美の海の安全を守り続けます。